

倒されませんが、滅びません。

IDOP 2023

2023年度の迫害下にある教会のための国際祈祷日（IDOP）を迎えました。世界中でキリスト者に対する迫害が広がっているニュースに私たちの心は重くなります。アフリカ、中東、ラテンアメリカなど3億6千万人のキリスト者（7人に1人のキリスト者）が、厳しい迫害に直面しながら生活しています。

キリスト者迫害の統計を見ることは心が痛みます。ワールド・ウォッチリストによれば、2022年、5,621人のキリスト者が殺害され、2,100以上の教会が攻撃を受けました。また4,500人以上のキリスト者が拘束されました。これらの驚くべき数字は氷山の一角であり、現実に多くの国々でキリスト者はキリストに対する信仰のゆえに、日常的に、いじめ、差別、無実の投獄、そして死に直面しているのです。

けれども、私たちは迫害を受けている兄弟姉妹のために心を合わせて祈る時、みことばの中に希望と励ましを見いだします。コリント人への手紙第二の中でパウロは、「私たちは四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方に暮れますが、行き詰ることはありません。迫害されませんが、見捨てられることはありません。倒されませんが、滅びません」（2コリ 4:8～9）と述べています。この力強い聖書のテキストから、どんなに迫害があってもキリスト者の信仰は滅ぼされることはないことを、私たちは思い起すのです。この一節から、どんな敵意に直面しても、信仰の堅く立ち、忍耐する力を迫害されている者たちが見いだせることをキリストにあって知り、共感と熱心さをもって彼らのために祈るよう励まされます。また迫害されているキリスト者のための私たちの祈りの決意を強め、神さまのみ守り、励まし、慰めを祈り、世界中のキリスト者がキリストにあるひとつのからだとして一致していることを願わせてくれるのです。

IDOPを通して、迫害されている兄弟姉妹の苦しみに世界中が目を向けます。キリスト者はどこでもその信仰を証しますが、その場所で信教の自由は必ずしも保障されていません。実際、宗教的迫害の約80%はキリスト者に向けられています。20年以上にわたって、IDOPは迫害下にある教会のために祈るよう、何百万のキリスト者をひとつにしてきました。迫害下のキリスト者にとって緊急で、欠くことのできない必要は祈りです。ヘブル 13:3は不当な扱いを受けている人々と同じ痛みを感じながら、彼らのために祈るよう命じています。私たちはキリストにあってひとつなのです（1コリ 12:26）。

2023年11月、世界福音同盟（WEA）は世界中の教会に連帯して、IDOPに加わるよう

に呼びかけています。迫害を受けている兄弟姉妹のために祈りましょう。聖霊が彼らに力を与えて信仰に堅く立たせてくださるように、苦難の中で彼らがキリストに従うことができるよう祈りましょう。さらに迫害の最前線にある兄弟姉妹のために祈りましょう。彼らは神の国において先頭に立つ人々です。スポルジョンは「祈りは神の戦士たちの内なる力であり、体力を整え、武器を身に着けさせて霊的戦場へと送り出すものです」と述べました。同じように私たちの祈りとサポートも迫害下にある教会の力となりますように。イエス・キリストへの信仰を証しすることで、世界中の教会が連帯して、ひとつとなり、つながり合わされることを知っているからです。

祈りつつ

ゴッドフリー・ヨガラジャ

世界福音同盟・信教の自由委員会

